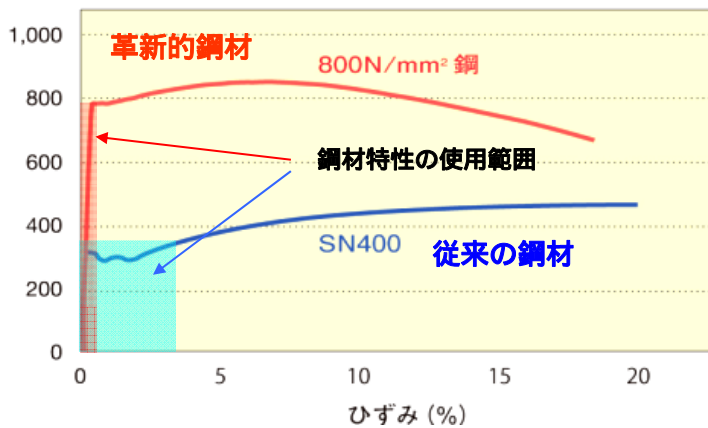


革新的構造材料(800N/mm²鋼材) 開発

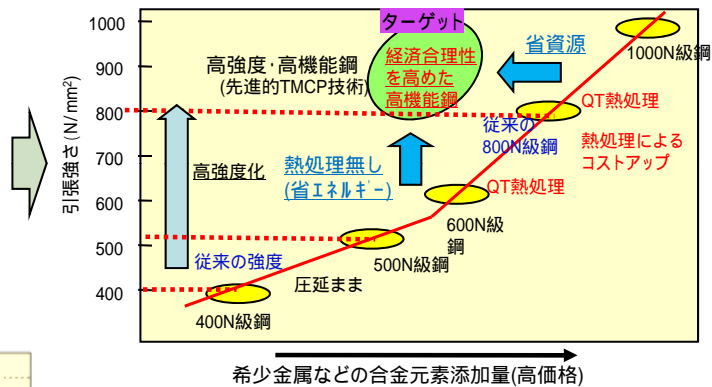
鋼材開発の狙い

従来の2倍の強度を確保 且つ
 経済適合性の追求
 (合金量低減、製造工程のシンプル化等)
 高強度化による鋼材量削減(同じ耐力に
 対して)で環境負荷低減

応力 (N/mm²)



鋼材強度400～490N/mm²から800N/mm²へジャンプアップに際して、新たな設計法・接合法の開発が必要
 塑性設計から弾性設計へ 乾式(ボルト)接合構法の開発



自動車産業の高度な技術領域にキャッチアップ

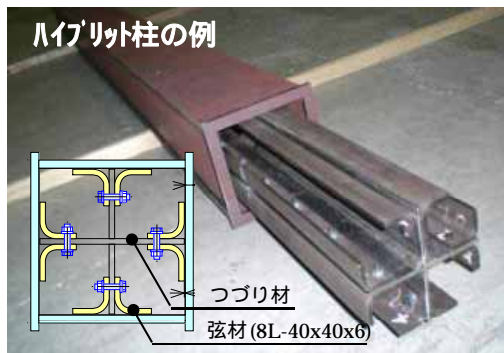
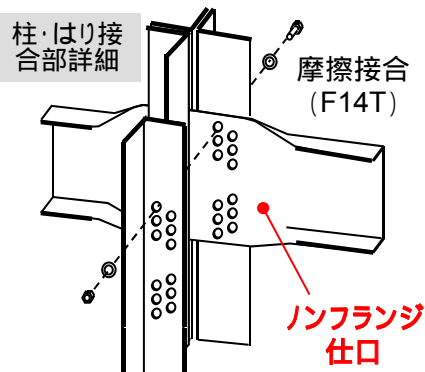


8

高強度鋼材を用いた柱・はり・部品の製造

製造

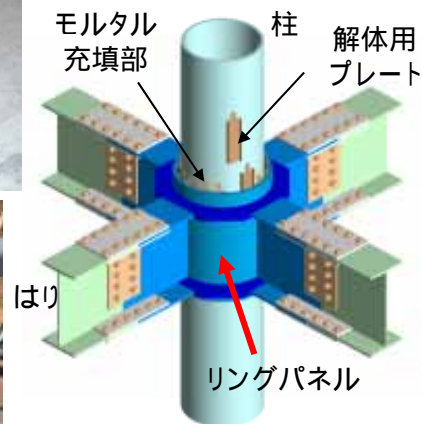
- ・ 高度な加工技術は不要
 - ・ 新たな加工ラインは不要
- ### リユース設計(高度な技術的知見)
- ・ 十分な工学的性能・耐力の確保
 - ・ ボルト接合が主体(溶接を避ける)
 - ・ 部品の組立て - 解体分離が容易



既存の鉄骨加工工場を利用



薄い鋼板で柱・はりを製造。
 ・ 軽い
 ・ リユースも容易



9